

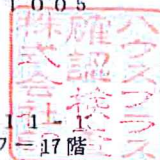


試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和4年4月5日

受付日：令和4年1月26日
受付番号：HP22-KT005

接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-11-1
ニューピア竹芝ノースタウ
ハウスプラス確認検査株式
代表取締役社長 坂横 義夫



1. 接合金物名称	2倍筋かい<リペロⅢ>
2. 試験依頼者	株式会社タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた筋かい壁(引張筋かいとして作用)の終局時変形角が1/30rad以上であることを確認すると共に、短期基準せん断耐力から、筋かい端部接合部が負担する耐力を評価する。
4. 試験内容	筋かい断面寸法45mm×90mmベイツガ筋かい壁の面内せん断試験(柱脚固定式) なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	1) 試験体の寸法 横架材間の内法寸法:2,587.5mm 柱間隔(芯々間):910mm 2) 接合金物 「2倍筋かい<リペロⅢ>」 材 質: SGH490(JIS G 3302)*1 寸 法: (外形)46.6mm×101.6mm×108mm 板厚t=1.6mm 接合具用孔: 柱側; 8-φ6.2mm 筋かい側; 6-φ5.9mm、4-□6mm 表面処理: Z27 3) 接合具 柱側: 「木ねじ TBA-45」 8本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C; 0.15~0.23% Mn; 0.60~1.00% P; 0.030%以下 S; 0.050%以下 寸 法: 頭部径φ9.3mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.8mm 首下L=43mm 表面処理: エコート*2 WH処理 筋かい側: 「木ねじ TBA-45」 6本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C; 0.15~0.23% Mn; 0.60~1.00% P; 0.030%以下 S; 0.050%以下 寸 法: 頭部径φ9.3mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.8mm 首下L=43mm 表面処理: エコート*2 WH処理 4) 軸組材料 梁: 105mm×180mm ベイツ 無等級材 含水率: 10.5~14.5% 全乾密度: 0.43~0.45g/cm ³ 土台: 105mm×105mm スギ 無等級材 含水率: 11.5~13.5% 全乾密度: 0.39~0.40g/cm ³ 柱: 105mm×105mm×2,587.5mm(胴付き間) スギ 無等級材 2本 含水率: 7.0~10.5% 全乾密度: 0.41~0.46g/cm ³ 5) その他 筋かい: 45mm×90mm ベイツガ 無等級材 含水率: 8.0~8.5% 全乾密度: 0.50~0.52g/cm ³ 間柱: 30mm×105mm×2,587.5mm スギ 無等級材 含水率: 8.0~9.0% 全乾密度: 0.36~0.37g/cm ³ *1 引張強さ490N/mm ² の強度を満足する炭素鋼 *2 エコートはNOFメタルコーティングス(株)の登録商標
6. 試験条件等	接合金物は用途に合わせ外使いとして試験を実施した。柱脚側筋かい端部は土台に突き付け仕様としている。 試験体の柱頭の接合に羽子板ボルトSB-E2、柱脚の接合に引き寄せ金物S-HD15を用いた。
7. 試験結果	軸組の影響を考慮した短期基準せん断耐力 3.74 kN/m(引張側、1mあたり) ≥ 2.94kN 筋かい壁の終局変形角(3体の最小値) 66.67×10^{-3} rad (1/15rad) > 33.33×10^{-3} rad (1/30rad) (詳細は接合部性能試験報告書HP22-KT005に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター: 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	令和4年2月16日、17日
10. 試験実施担当者 及び報告書作成者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。